

# 第60回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 大会要項

ver20220315

- 主催 日本学生自転車競技連盟  
共催 公益財団法人日本自転車競技連盟 一般社団法人埼玉県自転車競技連盟  
後援 国土交通省 利根川上流河川事務所 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会  
協賛 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社  
株式会社パールイズミ セイコータイムクリエーション株式会社 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)  
株式会社クレーマージャパン (予定)
- 期日 2022年6月2日(木) チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者Zoom会議 20時より  
2022年6月4日(土) 11時30分 競技開始  
(立哨役員集合8:30、ゼッケン配布 / 9:30~10:00、試走開始 10:00 予定~10:30 まで)
- 会場 埼玉県利根川上流域南側 加須市・旧おとおね童謡のふる里室前発着 羽生市・昭和橋近傍折返し
- 大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)加盟校の学校対抗形式によるチームロードレースの優勝校を決める大会とする。
- 競技種目 男子チーム・タイムトライアル・ロードレース:63.2km
- 参加資格
1. 本年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録競技者。
  2. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかにかかわらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
  3. また、試合に参加するにあたって本大会参加選手並びにチームスタッフについては、前項の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿った感染防止対策として本連盟HP上の以下アドレスに掲載してある「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。順守事項が守られていない場合には本大会への参加を認めない。  
「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」<https://jicf.info/covid-19-pandemic-events-protocols/>  
尚、本通知の他に、大会ごとに必要な事項を取りまとめた感染防止対策に関するコミュニケを別途発表する場合もあるので、注意すること。
  4. 参加各校は、公認審判員1名および立哨役員1名、もしくは立哨役員3名を供出すること。但し、本州以外に所在地がある学校については、公認審判員1名のみ、もしくは立哨役員2名を供出することとする。東京、埼玉およびその隣接県の学校は、上記の供出人数に加えてもう1名の立哨役員を供出すること。立哨役員はコース上の指定された箇所に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得しているコースの安全管理が可能となる。尚、今回の供出役員は立哨だけでなく競技役員として配置される場合がある。また、立哨役員は本大会参加選手並びにチームスタッフと同様に「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。立哨役員には、昼食を支給する(但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。また、立哨役員氏名、性別、学年又は年齢および審判資格のライセンス番号をエントリー用紙に必ず記入すること。
  5. エントリー用紙に記入した立哨役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までには当連盟事務局宛に変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の立哨役員の変更は認めない。変更後の者についても前項3の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを条件とする。また、当日エントリー選手数が減少した場合でも、立哨役員の人数は減らすことはできない。尚、立哨役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代替りの者を出すこと。代替りの者を出せない場合には、該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科すことを原則とする。但し、新型コロナ感染の陽性者が出たことで、一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。立哨役員についての対応を協議した上で改めて指示する。詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。
- 参加基準 各校1チームとし、チームは3名または4名の選手で構成し、また2名の補欠選手エントリーを認める。
- 参加申込
1. 参加を希望する学校は、所定の様式にて本連盟事務局まで申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス(2020jicf.championship@gmail.com)への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはFAXにて事務局宛、期限内に送付する事。申込書はJICFウェブサイトより入手できる。概ね大会開催2~3週間前を目処に本連盟ウェブサイトにて受付完了者リストを公表するので、各自確認のこと。なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
  2. 参加料は1チームにつき30,000円とする。申込期限および参加料納入期限は、5月9日(月)必着とする。参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元に大会コード名0604と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。  
振込先 長野県労働金庫(ろうきん)諏訪湖支店 普通9687348 口座名義 日本学生自転車競技連盟
  3. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金

用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナウイルス対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。

4. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず（怪我等の正当事由がない場合でも）ペナルティを課さないこととする。但し、必ず事前に事務局（[jicf@remus.dti.ne.jp](mailto:jicf@remus.dti.ne.jp)）まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合には参加料は返却しない。

会場入場 1. 本大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、大会役員、メディア関係者、その他の関係者は前述の参加資格3.にあるように、本連盟のHP上に掲載してある「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを入場の条件とする。尚、本大会における観客を含む来場者に対する規制の詳細については、別途発表するコミュニケを参照すること。

2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手1名につきスタッフ2名を上限（飲食料の補給スタッフを含む）として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、参加資格4.の立哨役員についてはチームスタッフの合計人数に含まない。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場、チームPITおよび車輪・器材交換の指定PITへの入場も許可しない。

3. エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフについても前述の参加資格3.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを変更の条件とする。

4. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。また、選手の参加資格2.にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などご協力いただくことを原則とします。なお、メディア関係者についても前述の参加資格4.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを来場の条件とします。順守事項が守られていない場合には競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員のためご理解ください。

選手受付 1. ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケ発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

2. 参加者は、自転車・ヘルメットを持参してそれぞれの出走15分前までにバイク・インスペクションをセルフチェックで行うこと。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。また、自転車器材については基本的に選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。尚、出走サインは行わないので、出走1時間前までに出走メンバーのリストをセクレタリまで提出すること。

3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

賞典 1. 開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。表彰式については第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第、フィニッシュライン付近にて行う。

2. 優勝チームに優勝杯、チャンピオンジャージ、賞状を授与する。第2位および第3位に、賞品と賞状を授与する。第4位から第8位に、賞状を授与する。

事故措置 1. 競技中発生した事故等につき、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応の事。

2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

#### ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>

3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。

5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: [jicf@remus.dti.ne.jp](mailto:jicf@remus.dti.ne.jp) URL: <https://jicf.info/>  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408  
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

## 特 別 規 則

- 第1条（スタート・走行） 各チームのスタート間隔は、前年の上位8校は2分、その他は1分とする。前年度上位校から順に発走する。競技中は、原則として左側通行とする。
- 第2条（計時） 各チームの3番目選手がフィニッシュラインを通過したときにタイムを計時する。
- 第3条（食料補給） 飲食料の補給は、フィニッシュ側折返し地点の認められた場所において每周回認める。
- 第4条（PIT及び車輪・器材交換） コミュニケで指定する箇所のPITでのみ車輪・器材交換を認める。各チームはPITに1～2名の人員が待機することができるが、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにおけること。また、前年度上位8校にはMOTO審判がつくが、担当する上位8校の各チームから車輪を1ペア、交換用器材としてMOTO車両に積載することができる。
- 第5条（ギア比） ジュニアのギア比の制限は翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。
- 第6条（無線通信） レース中の競技者相互・競技者と監督間の無線通信を、競技運営ならびに安全性を妨げない範囲において認める。（UCI規則2.2.024条、JCF規則第28条1参照のこと）
- 第7条（その他） 一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。
- 第8条（チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者会議）

2022年6月2日（木）20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者・感染対策責任者会議を行う。参加チームの監督、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者E-mailアドレスに送付します。大会会場への移動中などにより会議を欠席する場合は、必ず会議前日の22時00分までに学連携帯090-2207-2369へ連絡をし、事務局（[jicf@remus.dti.ne.jp](mailto:jicf@remus.dti.ne.jp)）までその旨のメールを送り、事務局の許可を得ること。尚、無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。